

Making Tea, Making Japan

— 茶道と日本文化を考える —

11月1日 **木** 13:30~15:30

参加費
無料

京都大学 国際科学イノベーション棟 5F 会議室a・b

第1部

クリステン・スーラック博士講演会

13:30~14:30

第2部

クリステン・スーラック博士、芥川賞作家 松村栄子氏、
竹内里欧准教授によるパネル・ディスカッション

14:30~15:30

モデレーター：安藤幸講師（京都大学大学院教育学研究科）



講演者・パネリスト プロフィール



クリステン・スーラック
(Kristin SURAK, PhD)
社会学博士。ロンドン大学東
洋アフリカ研究学院准教授。
著書『*Making Tea, Making
Japan: Cultural Nationalism in
Practice*』(2013年)により、
2014年のアメリカ社会学会ア
ジア部門出版賞を受賞。2018
年4月には、同書の邦訳
『MTMJ—日本らしさと茶道』
(廣田吉崇監訳／井上治・
黒河星子訳、さいはて社)が
出版された。裏千家流茶道を学
び、宗清の茶号をもつ。



松村 栄子(まつむら・えいこ)
小説家。京都市在住。1990年『僕はかぐ
や姫』により海燕新人文学賞を、1992年
『至高聖所(アバトーン)』により芥川賞を
受賞。他に著書として『紫の砂漠』、『京
都で読む徒然草』、趣味である茶道に関し
て、小説『雨にもまげず粗茶一服』、『風
にもまげず粗茶一服』、『花のお江戸で
粗茶一服』の三部作などがある。



竹内 里欧(たけうち・りお)
京都大学大学院教育学研究科准教授。
文学博士。専門は文化社会学、教育社
会学。主要業績は、『「真の紳士」と『似
紳士』—『西洋』と『日本』の構築』、『社
会学評論』、『The East and the Idea of
Europe』(共著 Cambridge Scholars
Publishing) など。

アクセスMAP



- 対象：教職員・研究者・院生・学生および一般
- 使用言語：日本語
- 申し込み：必要 先着 **50**名様
下記QRコード、または <http://bit.ly/2NnT7Kk> からお申し込みください。
- 締切：平成 30 年 10 月 24 日(水)17 時
- 問い合わせ：グローバル教育展開オフィス
Email： globalevent@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
- 協力：さいはて社

